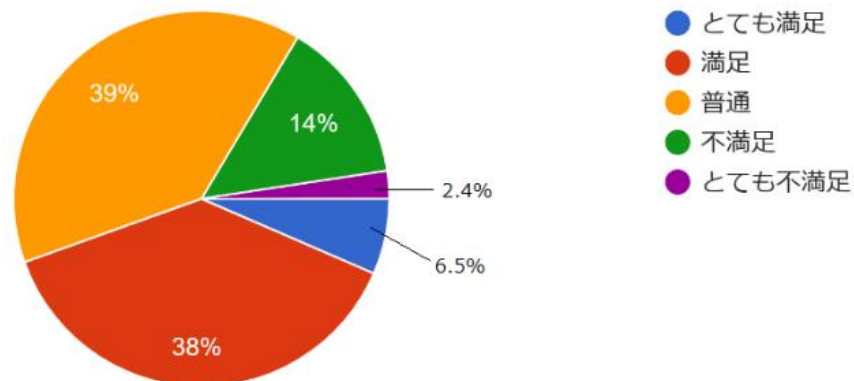


(6) 現在の満足度とその理由

①現在の満足度

現在の生活に対する満足度を問うと「普通」が 39.0%と最も多く、次いで「満足」が 38.0%、「不満足」が 14.0%であった。

図 8-1 現在の生活に対する満足度をお聞かせください



②満足度の理由

満足度の理由を U ターン・I ターン別に質問した。

【U ターン】

満足度の高い理由の大半は「生活環境」によるもので、「子育て環境」「仕事・職場環境」については 1 割に満たなかった。

不満足度の高い理由の 4 割弱も「生活環境」によるものであったが、「仕事・職場環境」については 3 割弱、「子育て環境」については 1 割に満たなかった。

■ 記述内容 ■

a. とても満足

・家、職場、友人に恵まれ、不自由なく暮らしているから	(2)
・ご縁があって県内で結婚して主人の仕事を手伝っていますが、子どもを育てるには自然も多いし家族も家族でない地域の人もみんなで子育てしています。人との関係が濃い。娯楽や買い物は、今はインターネットや通販も発達してあまり不便さは感じない	
・運良く結婚ができ、家族関係も今のところ上手く行っているため	
・仕事と家庭の両立を図れているため	

2 調査結果

・やりたいことを仕事にできているから
・女性一人でも生きていける収入があるから。たぶんどこの地域に住んだとしても、経済的に自立できていればそれなりに満足だと思う
・個人的な幸せ度は高いが、それは青森にいることを許容したからだろうという話であって、別な場所でも私は幸せに暮らせます
・地域に足りないモノがたくさんあるが。それを補うため働きたいと思っている。 そこに共感する人が増えてきたことから、とても満足
・生きていくうえでのストレスが大幅に減った
・仕事も生活もお金で買えないものがたくさん身近に存在するから
・生活に不便さを感じていないため
・家賃が 0 円

b. 満足

・ある程度不自由なく生活できているから	(26)
・家族、親族、友達に囲まれて過ごせていること	(10)
・時間と心に余裕を持って生活することができている	(5)
・子育ての環境が良い	(4)
・住み慣れた場所だから暮らしやすい	(3)
・仕事と家庭の両立がそれなりにできている	(3)
・一度県外に出たことで、地元の良さが再認識できた	(3)
・現在居住している街が気に入っているから	(3)
・やりたいことを自由にやれているから	
・何より自然豊かである点。知人友人は県外に多いが、SNS 等で繋がっていたり、買い物などもネットで必要な物は問題なく購入できるため、閉鎖的な環境を感じることは無く、不便ささほど感じない	
・リモートで県外の仕事をして、地元の魚を食べ、ディープな八戸の飲み屋を徘徊でき、志高い友人が近くにいて、家賃が安い	
・生活リズムや食生活が整った。出費が減り貯蓄ができるようになった	
・基本的な生活に困る要素はなく、慣れ親しんだ土地で穏やかに過ごすことができている。都心部に比べ圧倒的に飲食店やアパレルショップが少なく不便に思うこともあるが、通販等利用すれば大体のものは補うことができる。娯楽施設の不足は課題であると感じる	
・長く住んできたなじみある土地なので、基本的にはとても満足ですが、娯楽施設などが増えてより地域が活性化するといいなあと思うことがあるので、満足にしました。	
・ストレスが少ない	
・十和田市には珍しい、就労条件が良い会社に勤めているから。またやりたいこともある程度できているから。ますます良くなるだろうな、という想定がつくから	

2 調査結果

・どこで生活したとしても魅力・課題両面あると思う。現状は自然の豊かさのありがたみを感じることができているが、年齢を重ねたときに交通面の乏しさや冬の厳しさなどに耐えながら暮らすことを考えると不安感がある
・安定した収入と持ち家があり、実家も近いため子育ての協力をしてもらえるから
・娯楽が少なく退屈だと感じる一方、お金を使わないので経済的に余裕のある暮らしができているため
・今の暮らしに不満はなく、将来への楽しみもある一方、多様性が尊重され自己の力で生きていく力が試される都心で挑戦してみたかったという気持ちもあるため
・県外に出て戻ってみると、青森市は生活するのに大きすぎず暮らしやすいサイズ感であると感じる。また、県内の自然あるところへでかけるのが近い。仙台や東京へも新幹線でアクセスしやすいこと、買い物などはインターネットでできる。また、家族や親せきが近くにいることで、相談などもしやすい
・災害、戦争の不安がない
・日常生活を送る上では概ね満足ですが、都会の同業者より給与が低いこと、娯楽が少ないこと、海外旅行に行くときに都会の人よりプラスαで日数とお金が必要なので、アクティブな面で物足りない
・所得もある程度貰えており、結婚出産により家族が増えて充実しているため
・しっかりした保障のもと働くことができる上、子育てしながら働く事への理解や協力体制が少しずつ整ってきていると感じるので
・夫婦ともまともな仕事先に就いていて、生活に困ることはないため。 都内ではいくらかかるかわからない戸建てを建てるのが出来たため
・自分が思い描く理想の働き方を、青森ではできないと線を引きのではなく、自分で切り開くことができたから、今の生活に割と満足しています
・飽きるにはまだ早い。見たいもの行きたいところがまだまだある

c. 普通

・良い面もあれば不満な面もある。	(9)
・給与水準が低いが他に良いところがある	(8)
・可もなく不可もないから	(6)
・それなりに生活できているから	(5)
・良いことも悪いこともあるが、子供の頃からこんなもんかと思っているから	(4)
・現在の生活で困ることが特にない	(4)
・普段の生活で不自由している点がなく、平穩に過ごせているため	(3)
・車がないとどこに行くにも不便なところ。	(3)
・実家暮らしのおかげで経済的な負担が少ない	(3)
・実家があるので、子育ては助けてもらえる	(3)
・経済的、文化的な面では首都圏で生活していた時と比較してランクダウンした感覚が否めない	

2 調査結果

・生活には困らないが、青森市には遊びに行きたい場所、買い物に行きたい場所、娯楽が少ない
・娯楽施設（映画館等）やブランドのショッパは少なく、雪も多くて大変ですが、家族と一緒に暮らせることが一番満足です
・娯楽施設がないこと以外は不満なく暮らしているが、市外へ行くための交通が不便
・娯楽やイベントが少ないため、どうしても休日とか遊びに行く場所が少ないのが生活していて楽しみがない
・定職に就いて経済的には安定したため。一方で娯楽が少なくそこまで満足だとは言えない
・学生がもっと気軽に行ける飲食店とかショッピングセンターとかアウトレットとか遊園地とか水族館とか増えてほしい
・治安が良くゆとりを持って暮らせる点は良いが、娯楽施設が少なく、街の衰退が目に見えて進んでいる
・友人がいて楽しいが、遊ぶところが少ない
・とりあえず今、仕事があり、大きな病気もなく生きているので
・生活をする上で不便はないがレジャーや観光でいうと行くところが限られてしまう
・田舎あるある。嫁ぎ先での同居は必須で、実家の親の世話は二の次。仕事の選択肢は乏しく、黙って継続している方が安心。起業した成功例を見せられてもそこまでの勇気と体力はもう無い。今を淡々と過ごしていければ満足
・仕事して家に帰ってという生活で手一杯で娯楽など楽しむ余裕がないときは、市内でだいたいのが完結する。ただ、休日や長期休暇が取れたり、ある程度時間があるときは退屈だなと感じることが多い（コロナで行動制限があったというもある）
・雪での苦労がなければ満足になる。田舎でもお店がなくても、そのへんは困らない
・ネット環境が充実し、以前より都市部との格差が少なくなっているから
・雪国ならではの魅力も感じつつ、除雪はきつい
・コロナ禍で他県への移動が制限されており、子供を連れて遊べる場所に限りがあり遊びたい盛りの子供を持つ親としては少し不満
・住みやすいが子育て世代への(高校生まで)援助が欲しい。ひとり親には、ちょっと不十分
・子を遊ばせたり、学ばせる場所が少ない
・普段の生活で居住環境に満足しているが、テレビ放送局が少ないこと、こどもの教育環境の選択肢が少ないこと（私立小中学校、塾、習い事）に不満がある。実家との行き来がしやすいため、子育て時に実家を頼れること、介護時にすぐ対応できることは満足している
・夫婦共働きで保育園も待機なしで入園できた
・子連れ観光地が県外に対して少ない
・子どもや障害児を持つ親へのサポートが無さすぎ、出産や子育て支援もない、東京などは出産するとお祝いの物やお金が貰える
・親族や友人がいるという点以外は青森県に魅力を感じていない。職場環境や行政には不満が多い
・今後のキャリアを見据えて転職先を探す場合、現職より魅力を感じる企業が少なく感じる

・満足はしていないから
・満足していない訳では無いが、また県外へ出たいという気持ちがあるから
・困っていることもないが、都会に比べたら不自由さを感じる
・県外に移住を希望するような不満はない
・青森でしたいことがまだできていないから
・食品以外のものはネットショッピングが主になる

d. 不満足

・給与が低い	(5)
・冬の光熱費の負担が大きすぎる	(2)
・想像以上に考え方が古かった、コミュニティの狭さ	
・女性は家庭に入る、女性が子育てする、などの女性の負担が大きい 教育レベルが低い、先生の人間性が低い、それに注意できない上司、子どもはそれを見て育ち大人になる、悪循環	
・女性の社会進出、キャリアアップに対する会社の意識の低さ（そもそも今この時代にこの話題になるのが時代遅れ）、降雪量が多く通勤が大変、	
・女性の管理職登用が少なく、自分より年齢も能力も下の男性職員の昇進を見続けるのは辛い	
・セクハラやパワハラに対する認識が浸透しておらず、余計なストレスを感じる時がままある	
・県外へ出る交通が悪すぎる。性的マイノリティへの理解が低い	
・子育てがとてもしにくい。経済的援助もだが、色々な制度はあるけれど使いにくいものばかり。申込もネットで出来ず、紙を3日前までに提出しなければいけないなど実態にあってない。病児保育などその日に使わなければならないものが、空き状況も分からず申し込みも事前と言われ、あるだけで使えない。青森は遅れてると心底思う	
・経済的な不満はないが、子育て・介護・仕事の両立を考えると環境が整っていない。娯楽施設が少ない。公共交通が不便、雪の問題が解決できないなど生活しにくいと感じる	
・雪が多い、遊びに行くところが限られている	
・満員電車での通勤を避けられること、都会よりも広い居住空間が確保できることはありがたい。生活面では、交通の便の不便さ、医療機関の選択肢の少なさ、文化施設の少なさなど、魅力に乏しい	
・冬における交通の不便さ、高齢者の暮らしづらさ（積雪など）	
・医療体制が整っていない	
・便利な都会に比べると、やはり生活しにくい。想像以上だった。子供の遊び場もなく、神奈川に戻りたいと子供に言われると、なんとも言えない気持ちになる。八戸市在住	
・賃金が低い。その割に物価が高く、子供が欲しいが、育てられる経済的余裕がない。 他県に出ようか悩んでいる	

・職が少ない
・会社の暖房手当があるところがだんだんと減ってきている。最低賃金なのに、どう生活していけばいいのか、謎
・早く青森から出たいと考えているため
・趣味を楽しめる施設がない
・税金を取られるだけでなんの恩恵も受けられない
・他都市と比較してしまうと、満足とは言えないから
・青森出身ですが、ここに住んでいると辺境の地で苦行をしている気分。気が滅入る

e. とても不満

・同じ時間働いていても他県より給料が低い。積雪があるため冬場の行動が制限される
・給料が少ない、物価が高い、女性がやることが多い、支払いが多すぎ
・仕事があるのでかろうじて青森に居ますが、できれば転出したいと考えています

【I ターン】

満足度の高い理由の大半は「生活環境」によるもので、「子育て環境」「仕事・職場環境」については1割に満たなかった。

不満度の高い理由の5割は「生活環境」によるものであったが、「仕事・職場環境」についても5割であった。

■ 記述内容 ■

a. とても満足

・収入は減ったが生活に余裕が出て楽に暮らせるようになったため
・地域内での交流が増えて地域に根差した暮らしができているため
・八戸市に限って言えば、施設、商環境、交通等に不便がない。雪もそこまで多くない。子育て環境も悪くない
・今のところやりたいと思っていた事が出来ている

b. 満足

・想像していたより暮らしやすいと感じているため	(2)
・気持ちにゆとりを持って、子育てをできるから	(2)
・雪がなければとても満足	(2)

2 調査結果

・課題もたくさんあると感じるが、生活が立ち行かないレベルではなく、経済的に豊かでなくてもなんとかなっている。また、おいしい食べ物や自然の豊かさに触れる時に、ここに住んでよかったと感じるため、上記の満足度となった
・家族が仕事も家事・育児もそこそこに担っているから
・親戚が近くにいなくても生活出来ている
・都会のようにセカセカギスギスしていないから
・経済的に困らないで暮らしていく収入があるため
・コンクリートジャングルで育ったので、山や川を見ていると毎日旅行している気分になれる。暑いのが苦手なので、真夏でも涼しい気候が最高。雪景色は毎年感動します
・自然が多く空気がいい
・住むところや教育関係は課題だけど、個人的には暮らせているから
・子育てのしやすさ、自己実現の達成度、人間関係
・基本的には満足ですが、忙しすぎて(本業・副業)自分の時間があまり取れていないのをなんとかしたいです
・まだまだ自分の生きたいように生きられていないので、自分次第ですが今後継続して努力していきます

c. 普通

・県外どこで生活しても、100 パーセント満足という状態で生活できるとは限らないから (2)
・今の生活に満足していることも、していないこともどちらもあり、それが普通のことであると思うため。今の生活が続けることに苦はないが、将来の選択肢に「他県への移住もしくは出身地への帰郷」がないわけではないため
・自分自身の暮らしの満足度という点では高いが、子供にとって良い環境であるかという点では疑問があるから。ただ、子供にとっても良い環境を作っていくことには可能性を感じている
・住み心地は良いが娯楽施設が少ないから
・地方なので、物価や住居費等関東と変わらない。雪のため、準備する物が多く、お金もかかる
・結婚を機に親戚もいない青森に来ましたが現在は離婚し、ひとり親家庭で3人の子供を育てています。児童扶養手当をもらっていますが、一人目に対しての金額が一番高く二子・三子と増えれば増えるほど金額が極端に下がります。産めば生むほど生活が大変になります。これでは誰も子供を産みたいと思う事はないと思います。ただ、これは国に対しての事であり、青森に関しては実家に帰るよりも自然が多く住みやすい所でのびのびと育てたいと思い青森にとどまっているので「普通」に評価させて頂きました
・良いところも悪いところもあるから
・可もなく不可もない
・不満があるわけではないが、これといった魅力をあげられないから
・地元と変わらないため

2 調査結果

・ なんとかやっていける環境であるため
・ 特段不便なく暮らせているが、青森県に残る理由もない。 そう考えると、アクセス面が良い都心周辺や宮城県に戻った方がよいとも考えている
・ 車がないと生活できない。電車もない
・ 自然豊かで物価も安く住みやすいが、方言が強く疎外感が大きい

d. 不満足

・ 文化の面では地元色が強く、環境の面では雪に埋もれ、いずれにしても閉鎖的で自殺者が多い理由がよくわかる。観光地としてとても魅力ある良い場所だが、住むにはづらい
・ 人柄はすごくよいが、時代に追いつけてない古い考え方が根付いてるのか、他県から来た人に対して冷たさを感じる。慣れるまで時間がかかる
・ 病院、働き口、公共交通機関等生活に必要な施設の少なさ
・ 交通が不便、買い物不便、街を歩きながら買い物できるようなところがない、娯楽施設のなさ
・ ハラスメント
・ 低賃金
・ 賃金が少ないのに車等の固定費が掛かってしまう為

e. とても不満足

・ 娯楽施設の無さや、冬場が与える生活環境の厳しさは暮らしにくすぎる。 男尊女卑の傾向も強い上に、都心なら誰しもが活躍できる場があるにも関わらず、地方では、昔の風習なども根強く、若者が住みたがらないのも当然だと思う
・ 家族の介護、低賃金の工場パートと配達の仕事であとは何もない
・ 職場環境が悪い